

つるみ在宅ケアネットワーク 第17回合同勉強会報告書

日時 平成30年3月12日(月) 19:00~21:00

場所 済生会横浜市東部病院 3階多目的ホール

19:00 開会あいさつ

鶴見区医師会理事長 原 直先生



あいさつ

鶴見区福祉保健センター長 清水 文子 様



第1部

19:05 鶴見薬剤師会より 「無料低額診療事業について」

(株) ヒューメディカ 唐澤 淳子 様

- ・ 無料低額診療事業とは
- ・ 医療機関に求められる義務
- ・ 医療提供施設である保険薬局では適用されていない



鶴見歯科医師会より 「つるつるお口の相談室」

ツネキ歯科院長 伊佐 常樹 先生

- ・ 「つるつるお口の相談室」 H29年度働きかけ・相談件数一覧表
- ・ 講演、研修会一覧表



第2部

19:30 テーマ: 「経済困難を抱えた方の支援を考える」

～いのちと暮らしを守る連携をめざして～

うしおだ総合ケアセンター 事務局長 松尾 ゆかり 様

- ・ 社会的背景 日本の貧困率: 16.1% 先進国中第4位
- ・ こどもの貧困: 16.3% (2012) → 13.9% (2015) ひとり親世帯 54.6%
特に母子家庭の収入平均 125万/年
- ・ 鶴見区状況「横浜市」 面積: 4位 人口: 3位 高齢化率: 20.9%
平均年齢: 43.7歳 生活保護世帯: 40.1% 4位 介護認定者: 3位
- ・ 鶴見区の特徴: 障害者・重介護者の割合・外国人が多い
- ・ 生活保護法とは・原理・原則
- ・ 生活困窮者自立支援制度について
- ・ 無料低額診療事業とは
- ・ 無料低額診療事業を行っている医療機関・対象者
- ・ 無料低額診療事業 事例



20：20～ ～人生の最終段階にある傷病者の意思に沿った

救急現場での心肺蘇生等のあり方について～

済生会横浜市東部病院 救命救急センター長 山崎 元靖 先生



- ・人生の最終段階にある傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生等のあり方に関する提言
- ・横浜市の取組の最新情報
- ・標準的活動プロトコール
- ・心肺蘇生等に関する医師の指示書（様式例）
- ・4月報酬改定見直し要件「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」

皆様の御意見も伺いたいとのことでした

【情報提供】

20：40～ 鶴見区の地域包括ケアシステムの構築に向けて

鶴見区高齢障害支援課 地域包括ケア推進担当係長 高橋 一輝 様

- ・横浜市・鶴見区これまでの取組
- ・横浜型地域包括システムについて・特徴
- ・鶴見区の地域包括システムについて



20：45～ 平成29年 鶴見区火災・救急状況

鶴見消防署 救急担当課長 村木 秀臣 様

- ・火災・救急概況：平成29年度活動報告
- ・搬送時イエローノート活用件数報告



20：48～ 鶴見区内医療機関一覧

横浜市鶴見市場地域ケアプラザ 河野 新一 様

20：51～ 鶴見区におけるICTを活用して多職種連携システム構築事業

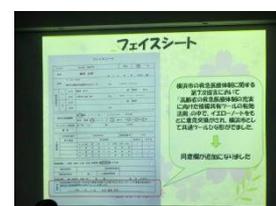
横浜市済生会東部病院より



20：56～ 鶴見区在宅医療連携拠点報告

鶴見区医師会在宅部門 鈴木 志律江

- ・事業・研修開催報告・相談件数：平成29年度下半期報告
- ・連携ノートについてインフォメーション



20 : 59 閉会のあいさつ

鶴見区医師会副理事長

貫井 文彦



出席者数 : 142 名

(医師 21 名 歯科医 7 名 薬剤師 4 名 行政 4 名 社協 0 名 医療連携室 18 名

地域包括 10 名 サービス事業所 75 名

当日出席者 : 2 名 当日欠席者 : 14 名